

平成30年度



学校だより 第7号

高岡市立木津小学校
平成30年11月16日
発行責任者 木越明子

チャレンジ&ありがとう



未来を創る子供たちのために

校長 木越 明子

京都大学特別教授である本庶 佑さんが、ノーベル医学・生理学賞を受賞したニュースに日本中が沸いた。がんの免疫療法につながる画期的な治療薬”オブジーボ”の研究とともに、その偉業を生んだ『本庶哲学』が話題となった。その中でも「教科書を簡単に信じない。常に疑え。」という研究姿勢を凝縮した言葉が、多くの人々の心に響いた。

学校は「正解」だけを学ぶところではない。正解以外の答えが評価されない教育では、想像力や創造力が育たない。激動する現代社会において勃発する問題のほとんどに正解はない。正解のない問題を解決するには、想像力を発揮し、コミュニケーション力を駆使して議論することで対応策を導き出していかなければならない。本庶さんの言葉から、未来を創る子供たちの教育の一端を担っている私たちは、改めてそのことを肝に命じるべきだと感じた。

今月7日に富山県庁において「大谷科学賞」の授賞式があり、木津小学校を代表して表彰状と副賞を受け取ってきた。毎年、富山県内の小・中・高校の中から、科学に関する顕著な活動実績を上げている学校が10校あまり選出されており、高岡市内の小学校においては数年ぶりの受賞となった。

本校では、平成15・16年度に文科省の【理科大好きスクール事業】の指定を受けたのを機に、「木津少年少女発明クラブ」を発足させた。科学に関心の高い上学年の児童が集まり、理科学習の発展的な実験や工作等を通して、科学的な見方や考え方を培ってきた。また、科学展覧会への継続的な出品をはじめ、富山県児童生徒思考大会やとやま科学オリンピックに積極的に参加していることも、受賞の理由とこのことである。長年にわたって科学創意活動に取り組み、伝統を築いてくれた児童と先生方に感謝し、副賞としていただいた50インチの液晶テレビやタブレットを、これからの学習活動に役立てていきたい。



健闘！ 小学生駅伝競走大会

11日に行われた富山駅伝競走大会と同時開催された小学生駅伝競走大会に、高岡市の代表選手として6年生の宮崎蒼葉さんが出場しました。9月の連合運動会での選考レースで選ばれてから、他校の選手とともに城光寺陸上競技場での夜間練習に取り組んできました。当日は力強い走りで襷をつなぎ、高岡市チームの2位入賞に大きく貢献しました。

